

新のニュース 2021 総集編

蘇州高新区

中国有数の日系企業集積地

山水に恵まれ 知恵が集まり



蘇州高新区へようこそ

呉義成 蘇州高新区招商センター総経理補佐

TEL : +86 0512 68750452

E-mail : wu.yc@snd.gov.cn

嚴潔冰 蘇州高新区招商センター業務2部

TEL : +86 0512 68750467

E-mail : yan.jb@snd.gov.cn

蘇州高新区日本事務所

住所 : 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号オランダヒルズ森タワー16階 郵便番号 : 105-0001

TEL : 03-5776-2183

E-mail : snd.jpoffice@pep.ne.jp

FAX : 03-5776-2186

URL : www.snd-jp.com





「企業誘致に力を入れ ・ 産業発展を促進」



蘇州高新区 1月の記事

1月の記事一覧

- 1月1日 「寒山寺除夜の鐘」イベントがネット生中継で行われ、日系企業の友人から高新区に祝福を
- 1月8日 テンセントと協力合意書を締結、揚子江デルタ地域における初のデジタル産業基地が蘇州高新区に設立
- 1月8日 蘇州高新区、国家級グリーン産業モデル区に当選
- 1月10日 5つのプランが公表、太湖科学城にて世界レベルの生態湖区・科学イノベーションセンターを構築
- 1月11日 循環型経済産業パークプロジェクトが蘇州高新区で起動
- 1月13日 246.6億元、5つの文化産業重点プロジェクトが調印、蘇州市文化産業ハイクオリティ発展大会が開催
- 1月15日 蘇州高新区企業サービスセンターが正式設立
- 1月15日 『新のニュース』 高新区内日系企業向け月刊誌が発刊
- 1月18日 重点プロジェクト125項目で総投資額380.25人民元、蘇州高新区は年度目標の101.5%を達成
- 1月18日 奨励金2000人民元、一日につき補助金500人民元、蘇州高新区は現地で旧正月を過ごす提唱
- 1月18日 150区重点プロジェクト公表 2021年の目標達成に向けて
- 1月19日 ドイツSCHOTT CERAN、蘇州高新区にアジア本部設立
- 1月22日 新型コロナ期間中、企業支援策14条発布
- 1月27日 起業を目指す若手人材のために、無料マンションの提供を開始
- 1月29日 “中国械谷”建設に向けて 「第一号産業」振興加速化
- 1月31日 蘇州高新区、体外人工心臓が臨床実験

246.6億元、5つの文化産業重点プロジェクトが調印、蘇州市文化産業ハイクオリティ発展大会が開催

1月12日、蘇州市文化産業ハイクオリティ発展大会が開催され、江蘇省委常委、市委書記・許昆林が出席しスピーチを行いました。

大会では、蘇州市『文化産業倍增計画の実施に関する指針』および関連支援策が発表されました。高新区文化ソフトウェア企業集積の維持発展の促進や、高新区蘇繡小町の建設支援、高新区文化とテクノロジーとの融合発展の深化といった内容が『文化産業倍增計画の実施に関する指針』に加わりました。

また同会では、蘇州高新区が市の呼びかけに応じて5つのプロジェクトに調印し、累計投資額が246.6億元に達しました。そのなか、湖墅関鎮プロジェクトは164億元の投資額で大会のトップを占めました。



蘇州高新区、国家級グリーン産業モデル区に当選

序号	基地名称	地区
1	天津经济技术开发区	天津
2	武汉东湖新区	湖北
3	高碑店经济开发区	河北
4	太原经济技术开发区	山西
5	伊通满族自治县经济开发区	吉林
6	杭州工业园区	浙江
7	浦东新区川沙新镇社区产业功能区	上海
8	苏州国家高新技术产业开发区	江苏
9	盐城环保高新技术产业园区	江苏
10	常州经济开发区	江苏
11	吴兴经济开发区	浙江
12	遂昌工业园区	浙江
13	肇庆经济开发区	安徽
14	阜南经济开发区	安徽
15	芜湖高新技术产业开发区	安徽
16	福州新区技术产业开发区	福建

このほど、中国国家発展と改革委員会、科学技術部は国家級初のグリーン産業モデル区リストを公表し、蘇州高新区が当選しました。

蘇州高新区は1990年設立以来、30年間、「グリーン発展」という理念のもとで、自然、エコ面での優位性を十分

に生かし、蘇州土地面積2.5%、人口4%で全市8%の経済総量を創出しました。

ここで、グリーン産業が集積し、新エネ、グリーン家電製品を主体としたグリーン産業システムが形成しました。中日グリーン産業イノベーション協力モデル区の建設に重点を置き、中日グリーン産業分野における第一ブランドになるよう推進しております。

清華大学蘇州環境イノベーション研究院、国家电网（蘇州）都市エネルギー研究院などの研究所を導入し、グリー

ン・イノベーション企業の育成を積極的に展開します。

また、上海科学技術交流センター（グリーン技術銀行管理センター）と戦略協力合意書を締結し、科学技術面での協力、国際フォーラムの開催などによって、グリーン科学と技術の融合を加速します。

現在、蘇州高新区には江蘇省級循環型経済パイロット企業6社、蘇州市級循環型経済モデル企業58社が集積し、中国初の循環型経済パイロット区・全国初のグリーン園區・国家級グリーン製造モデル区と評価されます。

『新のニュース』 高新区内日系企業向け月刊誌が発刊

1月15日に、蘇州高新区内の日系企業向け産業情報を発信する月刊誌『新のニュース』が発刊されました。創刊号は、メールでの電子版配信や郵送サービスを通して受信者が延べ1000人を超えるという。

本誌は、区内の日系企業や日本企業の中国現地法人を対象とした蘇州高新区初の日本語雑誌です。

その内容は、日系企業の発展状況、メイン活動及び関連政策・措置に及びます。

蘇州高新区政府と企業間の情報交換や意思伝達の大事な媒体として、区内の日系企業同士の凝集性を高め、官民一体の協力体制を一層確固たるものにしていくことを目的としています。

今後、『新のニュース』は毎月発行・配信される予定です。





150区重点プロジェクト公表 2021年の目標達成に向けて

1月18日、本年度の融資目標達成に向けて、150の区重点プロジェクトを推進していくことを、蘇州高新区が公表しました。

そのうち、準備段階にあたる契約締結を行うプロジェクトが32件、年内実施のプロジェクトが118件（新規56件、継続62件）あり、年間投資額の見通しは415.3億元です。

また、年内実施のプロジェクトは大きく6種類に分かれています。

(一) イノベーション創出施設
年間投資予定額が6.4億元で、南京大学蘇州イノベーション研究院、蘇州市集積回路イノベーションセンター、蘇州大学科技园通安基地を含む計5件です。

(二) 重点産業
年間投資予定額が188.9億元

で、計80件です。

一つは製造業（次世代情報技術、ハイエンド設備製造、医療機器およびバイオ医薬など）であり、国芯科技研究開発ビル、陽山グリーンAI設備産業化基地、新微溪バイオ医薬多価混合ワクチン研究開発産業化プロジェクトを含む計55件です。

もう一つはサービス業（オリジナル小町、本部経済、デジタル経済、複合商業施設など）であり、滄墅関グリーンエコロジー小町”下城”グリーン産業基地、科技城本部園第2期、テンセント蘇州デジタル産業基地、獅山金融イノベーションセンターを含む計25件です。

(三) 不動産

年間投資予定額が120.4億元で、獅山商務商貿集積区、科技城不動産及び付帯施設の人材マ

ンションプロジェクトを含む計4件です。

(四) 生態系保護

年間投資予定額が7億元で、蘇州高新区汚水処理施設移転及び総合改修工事、通安旧市街地堤防基盤整備工事、環山路廃棄物収集運搬センター建設プロジェクト、蘇州高新区堤防工事を含む計6件です。

(五) 国民生活事業

南京大学蘇州キャンパス、獅山横塘バス営業所近隣小学校、楓橋中心小学校塔園路キャンパス増築、蘇州高新区文達実験中学校、滄墅関幼稚園建設、滄墅関鎮”三村一体”オリジナル田园農村建設を含む計12件です。

(六) インフラ施設

通滄路東方延伸工事、環陽山路西線改良工事及び周辺道路接続工事2期を含む計11件です。



蘇州高新区
2~3月の記事

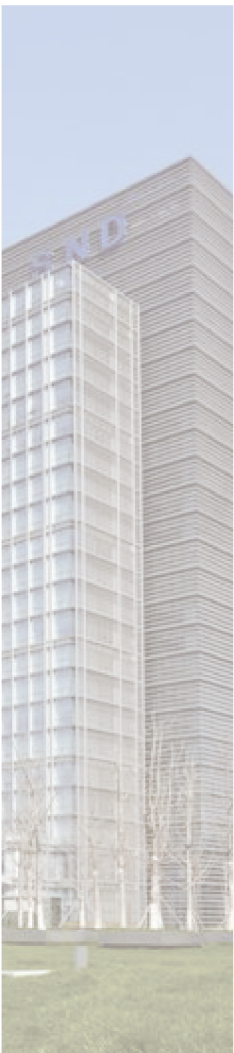
2~3月の記事一覧

2月

- 2月9日 蘇州高新区×日本電波工業株式会社 オンライン会議実施
- 2月10日 第一回蘇州高新区新春登山イベント開催 日系企業代表多数参加
- 2月11日 高新区にて旧正月を祝う 日本人従業員の「中国春節」
- 2月20日 春節明け、プロジェクト105件一斉調印・起工
- 2月22日 旧暦新年初、政府-企業間交流 日本企業本部直通オンライン会議実施

3月

- 3月1日 蘇州高新区2021年第1四半期重点プロジェクト起工式が開催
- 3月3日 大陽山初のショッピングモール「秦餘美好荟」が10月開業予定
- 3月4日 大運河文化の伝承、浒墅関古い町・観光地の修復が開始
- 3月9日 蘇州高新区進出日本企業600社達成！記念式典を盛大に開催
- 3月10日 「三つの特色ある（ビジネス・製造・科学技術）園区を構築」発展企画が発表
- 3月11日 南京大学環境企画と設計研究院蘇州分院が高新区に設立
- 3月12日 2021高新区中日友好記念植樹イベント開催
- 3月15日 中国科学院チーム、太湖“雲谷”に立地 AIチップの自社開発へ
- 3月18日 蘇州瑞瑪精密工業、三期プロジェクト起工式が開催
- 3月18日 江蘇省初の中国ーヨーロッパ越境EC列車が高新区から発車
- 3月21日 高新区日本事務所駐在員が日本に到着 対日交流と企業誘致を展開
- 3月22日 2021年樹山梨花文化旅行祭りが通安鎮で開幕
- 3月26日 国際協力センター、蘇州高新区と戦略協力協定を締結
- 3月31日 市民へのコロナワクチン接種、「方舱病院」が高新区文化体育センターに設置

蘇州高新区×日本電波工業株式会社
オンライン会議実施

2月9日、蘇州高新区は日本電波工業株式会社社長・竹内敏晃、社長・加藤啓美とオンラインにて会議を行い、ともに協力発展を語り合いました。

蘇州日本電波は高新区日系企業第一号として、1994年1月に設立以来、積極的に改革を進め、近年、地域本部機能を蘇州高新区に導入しました。ウェブ会議で、竹内敏晃会長は、2020年に蘇州高新区がコロナ予防、チャーター機及びプロジェクト導入への支援に感謝し、中国市場に自信を持ち、引き続き高新区との交流と連携を強化し、新たな協力分野を開拓すると決意を固めました。加藤啓美社長は、蘇州日電波電子工業有限公司の移転・発展及び中国区本部機能の状況を紹介しました。



蘇州高新区側は、長年間日本電波が蘇州市、蘇州高新区経済発展への多大な貢献に感謝し、今後も日本電波とともにさらなる増資・発展を促進することについて発言しました。

第一回蘇州高新区新春登山イベント開催 日系企業代表多数参加

2月10日、大陽山国家森林公园で、蘇州高新区新春登山イベントが開催されました。10名余りの日系企業代表が登山イベントに参加し、新たな一年に「日系高地」の新ピークに登ることを祈っています。高新区党工委副書記、虎丘区長・毛偉、蘇州高新区管理委員会副主任・虞美華はイベントに出席します。

今回の登山路線で、企業の方々は古めかしい文殊寺山門、明代古道、半山亭を経て、大陽山の奥深い人文景観と静かな自然を満喫しました。半山亭では、建屋が軒を連ねていて、縦横に整然とした町並みが一望できます。山頂に登ってから、美しい景色を探したり、手を合わせて幸福を祈ったりして、帰りの途中で絶えず登山イベントについて



交流して、お互いに新年の願いを分かち合っていました。

登山イベントの後、毛偉区長は交流活動の中で日本企業の代表に新春の対聯を贈呈し、中国の新春の雰囲気をも日本企業の友人に実感させました。



旧曆新年初、政府 - 企業間交流 オンライン会議開催



2月22日、蘇州高新区は獅山國際會議センターにて日本企業本部直通オンライン会議及び日系企業新春懇談会を開き、蘇州高新区管理委員会、区内日系企業代表17社の責任者が参列しました。

会議では、パナソニック、日本ガイシなど日本企業本部と直通オンラ

イン会議を行いました。パナソニック株式会社オートモーティブ社副社長、車載システムズ事業部長・小川立夫は「今後も高新区に根ざし、高新区とともにより多く豊かな成果を収めることを祈願している」と表明し、日本ガイシ株式会社取締役専務執行役員・松田敦は「蘇州支社へのサポートをより一層強化し、技術開発に力を入れ、蘇州高新区とともに更なる発展を遂げる」と発言しました。

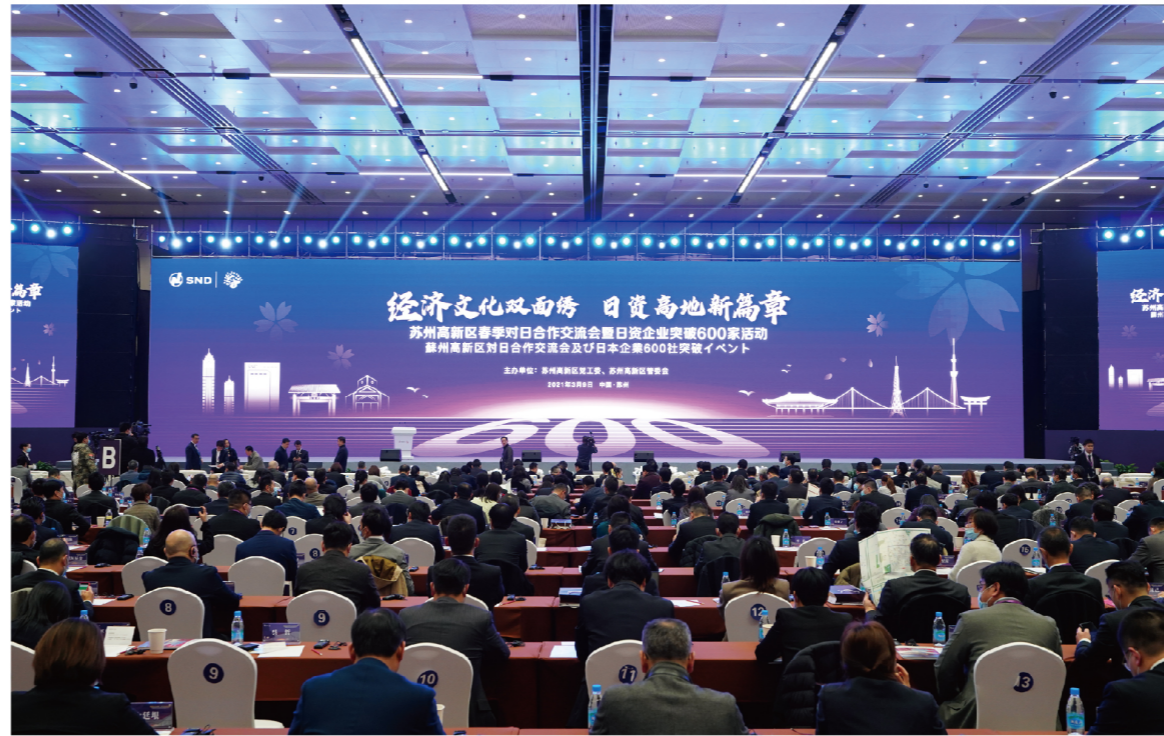
政府—企業間交流イベントににおいて、パナソニック半導体蘇州有限公司総経理・志賀康紀、キャノン（蘇州）有限公司董事長・籟持秀也、晶端顯示精密電子（蘇州）有限公司董事長・斉藤秀哉、住友電工（蘇州）光電子器件有限公司総経理・高橋久人などがビジネス環境について発言しました。

蘇州高新区進出日本企業600社達成！ 記念式典を盛大に開催

3月9日、蘇州高新区獅山国際会議センターにて「蘇州高新区対日合作交流会及び日本企業600社突破イベント」が盛大に開かれ、成功裏に終了しました。江蘇省委常委兼蘇州市委書記許昆林氏、在上海日本国総領事館総領事（大使）・磯俣秋男などが式典に出席しました。

1993年に初めての日商独資企業日本電波工業株式会社が高新区に進出して以来、パナソニック、キヤノン、三井住友銀行、エプソン、富士フイルム、日本ガイシ（NGK）といった有名な日本企業が相次いで当区に営業・生産拠点を構えてきました。次第に、蘇州高新区は揚子江デルタ地域における「日系高所」として発展しつつ、蘇州市内で日系企業の数が多い地域になりました。

現在、蘇州高新区に在籍する日系企業の数が605社に達し、そのうちフォーチュン500企業が17社もあることから、江蘇省初の「中日韓(江蘇)産業協力モデルパーク」と認可されました。



蘇州高新区「中日友好植樹式」植樹イベントが開催

「2021高新区中日友好櫻花林植樹式」が3月12日（金）、蘇州高新区の高景山公園内に行われました。3月12日は中国の植樹節であり、1979年に始まり今年で43回目を迎えました。

式典には、蘇州日商倶楽部副会長、蘇州日波電子工業有限公司董事長・藤原信光、蘇州日商倶楽部副会長、キヤノン（蘇州）有限公司董事長・簗持秀也ほか高新区政府関係者、区内重点日系企業、内資系企業代表、現地の中日学生が参加しました。

式典が行われた高景山公園は、楓橋街道馬澗路南側に位置し、園内に健康歩道、休憩所などが設置され、市民憩いの場として整備されています。

式典においては、藤原信光会長から「我々が共同して植栽するサクラの苗木が日中両国の友

好の証です。今回の植樹式は非常に意義のあるものであり、日本企業が高新区に投資し高新区に根ざすという確信が更に強化されます」との挨拶を行いました。



高新区日本事務所駐在員が日本に到着 対日交流と企業誘致を展開



3月16日、蘇州日本事務所検討会及び事務所海外出勤送別会が開催されました。この度、日本事務所が再び日本に赴任し、日本で次世代情報技術産業、医療機器、ニューエネジーなど重点発展産業を巡り、日系企業との交流・協力を展開していきます。

式次第

イベントでは、元日本内閣総理大臣・鳩山由紀夫、高新区友好都市・熊本市長・大西一史、日中経済貿易センター理事長・長榮周作などの日本政財界関係者からの祝賀ビデオメッセージを放映し、中国外交部アジア司副司長・薛劍、中日友好協会常務副会長、元駐日中国大使・程永華が祝賀状を贈りました。

蘇州中日グリーン産業基金、中日サービス貿易プラットフォーム「蘇州文化財」オンライン特別キャンペーン、蘇州高新区「商貿通」中日国際通信ライン、蘇州高新区日本中小企業サービスセンター、中日友好メディカルセンターなど五つのビジネス環境措置がリリースされ、「中日韓(江蘇)産業協力モデル園区」授与式も行われました。

また、投資総額108億元、計37件のプロジェクトが調印され、企業納税額、生産高、実払資本金といった3つの指標で日本企業605社の中から突出貢献賞20社、卓越貢献賞20社を選出し授賞式を行いました。

高新区は開発建設当初から日系企業を重視しており、1996年には日本駐在事務所を開設し、高新区の日本企業誘致の最前線陣地として、日本への投資に対して堅実な保障を提供し、全面的に投資政策、投資キャリア、科学技術創新及びインフラ整備などの状況を発表し、日本企業家から多くの称賛と好評を得ています。

昨年8月、コロナ情勢が緩和されたばかりで、高新区日本事務所は迅速に日本に赴任し、日本企業、銀行、協会及びパナック、キヤノン、日本電波、横浜タイヤなど高新区の重点日系企業本部を訪問し、高新区政策と企業誘致に関する情報を積極的に宣伝しました。京都ELEX電子、哲非情報技術、中日友好外来などのプロジェクトも順調に誘致しました。

国際協力センター 蘇州高新区と戦略協力協定を締結



3月26日、蘇州高新区党工委副書記、虎丘区長・毛偉一行は中国国家發展と改革委員会国際協力センターと座談会を行い、双方は第14回中日省エネ環境保護総合フォーラムにて調印した覚書と今後の更なる協力をめぐって交流を深め、戦略協力協議書を締結しました。国家發展改革委員会国際司一級巡視員・李斌、環資司、国際協力センターの責任者が座談会に出席しました。

毛偉区長は蘇州高新区の対日協力状況、重点發展産業と企業向けサービスなどを紹介しました。国際協力センターが蘇州高新区の發展への多大なる助力に感謝し、今後も引き続

き中日グリーン産業イノベーション協力モデル区の建設を支援し、ハイレベルの対外協力を展開して頂きたいと発言しました。

李斌巡視員は国家發展改革委員会の中日省エネ環境保護総合フォーラムのメカニズムを紹介しました。また、「蘇州高新区が引き続き「職人精神」で着実に仕事を展開し、中日協力の新たなスポットライトを持続的に構築することを期待しています」と述べました。

会議の後、双方は戦略協力協議書を調印しました。今後、双方は新たな發展理念を貫き、新たな發展パターンを構築し、共に国際協力の新たなモデルを作り上げていきます。



蘇州高新区
4~5月の記事

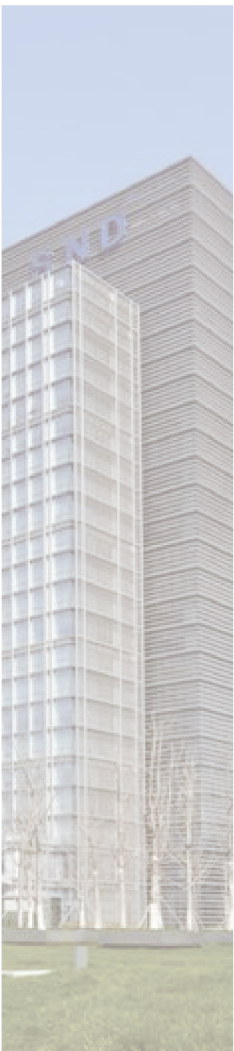
4~5月の記事一覧

4月

- 4月1日 蘇州高新区第1回日本企業花見大会及び横山体育公園開園式が開催
- 4月6日 蘇州ウシオ電機、蘇州高新区と奨学金制度の協定書を締結
- 4月9日 『蘇州高新区人材、人力資源工作三年行動計画』が発表され、人材マンション20000間を募集
- 4月13日 蘇州高新区国有企業資産規模2000億元超、1Q売上67億元 同期比42%増と予測
- 4月14日 心撃医療がシリーズBで1億元超調達 医療機器の開発に注力
- 4月19日 日系企業615社目が進出、芯工場半導体（蘇州）有限公司
- 4月20日 蘇州高新区輸出好調 1Qは58%増
- 4月21日 デジタル人民元、上海—蘇州間相互利用で観光促進 GWに向けて
- 4月22日 「創園壹号産業パーク」、「陽山グリーン・スマート装備産業化基地」など重点プロジェクトが集積、2022-2023年竣工予定
- 4月23日 蘇州日本人学校、2021年度入学式を挙行
- 4月25日 浒墅関古町プロジェクト起工式が開催され、大運河と江南文化の観光地
- 4月25日 KNORR-BREMSE商用車開発拠点が蘇州高新区に設立され、調印式が開催

5月

- 5月17日 江蘇省・東アジア企業家太湖フォーラム開催 日韓との連携強化を
- 5月20日 蘇州高新区人民医院×上海森茂診療所 中日友好クリニックを共同設立
- 5月26日 「上海・蘇州同城発展に融合 蘇州高新区投資説明会」が上海で開催



蘇州高新区第1回日本企業花見大会及び横山体育公園開園式が開催



「蘇州高新区第1回日本企業花見大会及び横山体育公園開園式」が4月1日（木）、獅山商務創新区にて行われました。

上方山国家森林公园は、「蘇州市内最大規模の桜の森」で名を馳せています。桜の季節になると、園内2000本以上の桜の木が一斉に咲き、蘇州の初春を飾っています。横山体育公園は獅山商務創新区に位置し、スポーツ、レジャー、カルチャー、エンターテインメントが一体化した都市型生態系公園であり、市民に人気の余暇・文化・スポーツ施設として期待されています。



イベントでは、区内日系企業代表29名が出席し、桜の季節に、咲き競った桜に心を惹きつけられ、蘇州高新区とともに歩んできた起業の日々を振り返りました。政府側から朱奚紅、虞美華が参加しました。

イベントの余興に、和太鼓演奏「日式鼓舞」や桜のテーマダンス、JPOPに合わせたフリースタイルバスケットボールといったプログラムも用意されました。

蘇州日本人学校、2021年度入学式を挙行



4月23日、蘇州高新区にて蘇州日本人学校第17回入学式が執り行われ、中、小合わせて63名の子どもたちが新たな生活をスタートさせました。



本式典には、在上海日本国総領事館首席領事・奥正史、蘇州日本人学校運営委員長・藤原信光、蘇州日商倶楽部会長・藤田浩史、蘇州日本人学校長・虹川康士ほか蘇州市政府、高新区政府関係者が参加しました。

虹川校長は新入生の皆さんに向けて「あいさつをしっかりしてほしい」「みんな違って、みんな良い!」と「あいさつ」と「自分らしさ」の重要性を伝え、子どもたちの健康で心豊かな成長を祈念しました。

34名の小学校新入生と、29名の中学校新入生は、担任の先生から点呼を取られ、元気にお返事をしました。

奥正史主席領事は、在上海日本国総領事館を代表して、「これまで蘇州高新区から当校へのさまざまな支援には深く感謝するとともに、今後とも蘇州日本人学校は、高新区内の日系企業の発展や当区の投資環境の改善、日本と蘇州との友好交流の促進に後押しをしていくことを祈っています」と、蘇州日本人学校のさらなる発展や新入生の成長を祝福しました。

蘇州ウシオ電機、蘇州高新区と奨学金制度の協定書を締結



4月6日、「ウシオ英才愛心基金（奨学金）」調印式が蘇州高新区にて開催されました。

蘇州高新区慈善總會長の蒋国良氏、ウシオ電機（蘇州）有限公司董事長兼總經理の板羽昌行氏、高新区社会事業局、教育局、商務局などの政府関係者が調印式に参加しました。

板羽昌行總經理は、「今まで、英才が集積している高新区は、人材育成に力を入れています。「ウシオ英才愛心基金」の設置は、その一助として、今後も社会発展を担う若者を育てることを目指す」と表明しました。

調印式では、蘇州ウシオ電機は高新区慈善總會に224.86万元（約3773万円）を寄付し、「牛尾英才愛心基金」を設立しました。蒋国良会長から板羽總經理に寄付金受領証明書を渡しました。

当基金の設立に伴い、双方の代表者および関係部門からなる「牛尾英才愛心基金管理委員会」が立ち上げられ、政府と企業が提携し「牛尾英才教育助力計画」を展開していきます。

蘇州高新区輸出好調、1Qは58%増



先日公表した貿易統計データによると、蘇州高新区2021年第1四半期の貿易総額は前年同期比45.4%増の101億4000万ドル（約1兆953億円）に達しているという。

そのうち輸出は前年同期比58%増の64億7000万ドルで市内1位を占め、過去最高額を更新しました。輸入は前年同期比27.4%増の36億7000万ドルになっています。

1～3月、欧州連合（EU）と米国等からの貿易オーダーは2019年ベースまで回復し、区内重点企业のオーダーが急増したことが、輸出入額増加の要因とみられます。

高新区の貿易額ランキングTOP30企業は、輸出入額が73億5000万ドルと全区貿易総額の73%を占めます。2021年第1四半期は、前年同期比50%以上の企業は8社、同20%以上

の企業は13社、同10%以上の企業は19社です。

今後も、蘇州高新区は輸入品への防疫管理を徹底しつつ、貿易会社への支援を強化していくとともに、企業各社の需要に応じて、アリババや中国最大級B2Bプラットフォームの中国製造網といったECプラットフォームと連携させることで、海外への輸出用に生産された商品を国内販売に回すことを支援していきます。

江蘇省・東アジア企業家太湖フォーラム開催 日韓との連携強化を



「第1回東アジア企業家太湖フォーラム」が5月17日（月）、蘇州にて開催されました。「蘇州高新区会場」イベントも同時に開催され、両会場共に盛況となりました。



このフォーラムは、江蘇省と東アジア地域の産業連携を深化し、産業チェーンとサプライチェーンの安定性や競争力を強化することで、変局に対応してウィン・ウィンを実現することを目的としており、また、東アジア地域の産業サイクルをよりスムーズにして、国際的な流通を促進した上で、全国に新たな発展パターンの構築に貢献していくことが期待されます。

当日、フォーラムの出席にあたり日韓企業代表は事前に高新区を訪れ、打ち合わせ会議に参加しました。

蘇州高新区は「第1回東アジア企業家太湖フォーラム」の無事開催を皮切りに、江蘇省初の中日韓（江蘇）産業協力モデル区の建設を新たな起点とし、今後とも日本と韓国との良好且つ開放的な協力関係の構築・維持に取り組んでいきます。

蘇州高新区人民病院×上海森茂診療所 中日友好クリニックを共同設立



5月20日（木）をもって、蘇州高新区中日友好クリニックは蘇州高新区人民病院にて設立され、開業しました。

開業式には、蘇州日商倶楽部首席副会長・殿岡靖典、蘇州日商倶楽部副会長・簀持秀也、蘇州市衛生健康委員会二

級研究員・陳小康ほか蘇州市、高新区政府関係者が参加しました。

蘇州高新区中日友好クリニックは、蘇州高新区人民病院と上海森茂診療所（メディネットインターナショナル株式会社）が共同で設立した医療機関であり、蘇州高新区人民病院入院部門の13階Bブロックに位置し、ワンストップ型の医療サービスを提供しています。

メディネットインターナショナル株式会社によって導

入される日本の医療技術、専門家、経営理念といった医療リソースを土台とし、蘇州高新区人民病院の強みを加えることで、中日友好クリニックは現地の日系企業向け医療サービスの新たな拠点とします。蘇州に滞在している日本人従業員向けの医療サービスがより充実するようになり、当区のビジネス環境がより強化されました。



「上海・蘇州同城発展に融合 蘇州高新区投資説明会」が上海で開催



5月26日（水）、上海浦東・シャングリラホテルにて「上海・蘇州同城発展に融合 蘇州高新区投資説明会・上海」を開催しました。

中日政府側から蘇州市人民政府副市長・楊知評、在上海日本国総領事館主席領事、副総領事・奥正史、企業側から三井住友

銀行（中国）有限公司総経理・垣内隆、恩基客（中国）投資有限公司（日本ガイシグループ）総経理・森俊也、積水化学工業（中国）有限公司総経理・宮野友之、シーメンスグループ中国区総経理・マックスほか上海・蘇州側関係者、企業各社代表が参加しました。

本説明会は、当区が長江デルタ地域一体化発展のチャンスをつかみ、バリューチェーン、イノベーション、金融、教育及び医療などの分野における上海市の提携をさらに強化して上海・蘇州一体化発展（同城発展）を図ることを目的としています。参加者一同は、蘇州高新区の広報ビデオを視聴しながら、当区の投資・ビジネス環境に関する紹介に耳を傾けました。

説明会では、92件のプロジェクトが調印され、投資総額が536億元に達したという。92件のプロジェクトが調印され、投資総額が536億元を上回りました。また、多くのプロジェクトは本説明会を機に、除幕を行い事業運営を開始しました。

蘇州高新区 6~7月の記事

6~7月の記事一覧



6月

- 6月5日 蘇州日本人学校第17回運動会開催
- 6月9日 蘇州高新区、全国統一大学入試「高考」に受験生2363人参加
- 6月18日 「バイオ医薬品・医療機器発展協力サロン及び長江デルタ中日協力イノベーション発展サミット」が開催 グリーン産業発展に注力
- 6月28日 コルマー化粧品、蘇州新工場が稼働開始
- 6月30日 華得半導体プロジェクト調印式開催

7月

- 7月6日 大和証券中国社、蘇州高新区と戦略的パートナーシップ契約締結
- 7月11日 第十三回蘇州国際エリート起業家週間、高新区太湖科学城フォーラム開催
- 7月12日 コストコ蘇州店本体工事完了 年末グランドオープン予定
- 7月24日 世界トップ企業の本社、蘇州高新区への集中進む シーメンス、PIOVANなど



「バイオ医薬・医療機器発展協力サロン及び長江デルタ中日協カイノベーション発展サミット」が開催

6月18日（金）、「バイオ医薬・医療機器発展協力サロン及び長江デルタ中日協カイノベーション発展サミット」が蘇州高新区獅山国際会議センターにて開かれました。

長江デルタからのバイオ医薬・医療機器分野の中国・日系企業、研究院代表がサロンに参加し、「個別化医療（高精度医療）の未来展望」、「中日医療機器産業の融合発展」などを議題とし、両国の最新技術・成果を分かち合い、蘇州ないし長江デルタの中日関連業界の協力を推進しています。

サミットでは、蘇州高新区政府、在上海日本国総領事館、日本科学技術振興機構、国家発展と改革委員会、中国科学院、蘇州市政府側が挨拶し、日本医療国際化機構理事長・博鯨アジアフォーラム元副理事長蔣曉松氏がイベントへの祝賀ビデオメッセージを贈りました。



「中日医療機器産業連盟」、「中日企業持続可能な発展宣言」、「中日青少年江南文化実践基地」「中日友好示範街区」「蘇州高新区新ホームページ」「中日企業第三者機関市場合作実践研修基地」「中日グリーン産業イノベーション協力モデル区」など七つのビジネス環境措置がリリースされ、医療プロジェクトの導入、「カーボンニュートラル」、「炭素排出のピークアウト」の達成、中日青少年の友好交流、快適・便利な生活環境の整備、高新区最新情報の宣伝、「一帯一路」を背景に中日市場の開拓、グリーン産業の集積などに注力しています。

総額15億7千万ドル（1ドル=約110円）に上るプラットフォームと産業プロジェクトの契約12件も同日締結されました。



コルマー化粧品、蘇州新工場が稼働開始



日本コルマー株式会社の中国における製造会社、科瑪化粧品（蘇州）有限公司は6月28日、蘇州高新区澁墅関にある新工場が稼働開始しました。

式には蘇州高新区政府、科瑪化粧品蘇州会社及び本部代表、江蘇省日用化学製品協会・蘇州市日用化学製品協会、江蘇省薬品监督管理局蘇州検査分局などが来場し、お祝いの言葉を送りました。

日本コルマー株式会社の神崎義英社長が大阪から祝賀ビデオメッセージを贈って蘇州新工場の稼働開始に祝福を表しました。

科瑪化粧品（蘇州）有限公司の岡田康裕総経理は「昨年は春頃に新型コロナウイルス感染症の影響で化粧品業界が大きなダメージを受けたが、その後いち早く回復し、売上高は2019年比13.4%増となっている」と述べ、今回の新工場は日本コルマー社の中国における研究開発センターとして、国内外での消費者ニーズの多様化に合わせ、優れた新製品を開発していくという目標を掲げました。

また、現在の新工場だけでは今後の受注増に対応できない可能性を見据え、同社は隣接する土地を購入して第二工場の建設を計画しています。

華錫半導体プロジェクト 調印式開催



6月30日、蘇州高新区は華錫先進半導体とプロジェクト調印式を行いました。

イベントの中、蘇州高新区党工委副書記、管理委員会主任毛偉は投資側の固錫電子と華景グループに歓迎と感謝の意を表しました。高新区の良好な投資環境・産業支援政策・誠心誠意のサービスと保障により、華錫半導体プロジェクトがますます発展していくことを確信しています。

固錫電子董事長吳念博は、「現在、半導体業界の市場発展チャンス十分に利用し、より多くのプロジェクトを導入し、高新区半導体集積回路の産業チェーンを充実させようとする」と表明しました。

華景グループCEO繆建民は、「高新区に根を下ろして成長し、優秀な人材と最新技術を導入することにより、華錫プロジェクトの発展をサポートし続ける」と発言しました。

華錫先進半導体（蘇州）有限公司は、中国国内半導体センター分野をリーディングする華景グループと国内半導体業界の先導企業である固錫電子の合弁会社で、登録資本金は1億元、5年間の累計投資額は2億元以上と予測されます。

蘇州日本人学校第17回 運動会開催

蘇州日本人学校では、6月5日(土)運動会を開催しました。

『炎(ほむら) ぶつかり合う蘇州魂つなげ僕らの物語(ストーリー)』

というスローガンを掲げ、澄み切った青空の下、赤組・白組に分かれた子どもたちが、元気いっぱい力を出し切りました。多くの保護者が来場し、活気あふれる運動会となりました。



開会式; 気迫のこもった選手宣誓



ダンシング玉入れ(小1)
1年生のかわいらしさにつられて、観客席の上級生も踊って応援!



大玉ころころ(小2)
自分の体よりも大きな玉をコロコロ転がす2年生。



台風の目(小3・4)
蘇州に大きな台風が接近中!? 気迫あふれる熱戦が繰り広げられた



大縄跳び - 61人奇跡の大Jump - (中学部) 心を一つにみんなでジャンプ!



生徒会企画の新競技『借り人競争』保護者も参加で大盛り上がり。藤原運営委員長も全力疾走!



全校競技
全校で力を合わせた大玉送りと綱引き



閉会式
今年は328対330と僅差で白組の優勝

大和証券中国社、蘇州高新区 と戦略的パートナーシップ 契約締結

大和証券グループが中国で設立した合弁証券会社である、大和証券(中国) 有限責任公司(以下「大和証券(中国)」)は、7月6日に蘇州高新区と戦略的パートナーシップ契約を締結し、長期にわたる戦略協力パートナーシップ関係を構築する計画を発表しました。

これを契機に、当区に進出した日系企業に対するサービスの改善を図り、日本企業誘致・投資促進とともに、区内企業の日本における投融資の利便性向上や、日本からの先端技術及びノウハウの導入可能性が期待されます。



大和証券(中国)の耿欣CEOは、「大和証券グループは長年にわたり国境を越えたビジネスを強化し続けており、蘇州市と高新区は製造業、オープンイノベーション、そして日系企業の集積地であり、協力のための非常に良い基盤を築いてきました」と述べ、「大和証券(中国)は、積極的に金融サービスを提供して、日本からの、または日本での投資を支援してまいります」との挨拶を行いました。

締結式には、政府側から蘇州市副市长・王颺、蘇州高新区党工委书记、虎丘区委书记・毛偉、市地方金融监督管理局長・謝善鴻ほか政府系金融機関関係者、大和証券(中国)からCEO・耿欣、常務副総経理・渋谷慎志、CFO・呂叡智が出席しました。

第十三回蘇州国際エリート 起業家週間、 高新区太湖科学城フォーラム開催



第13回蘇州国際エリート起業家週間 (Venture Week for International Elites in Suzhou) 高新区支部イベント「科学技術イノベーション週間」が7月11日に開幕しました。

イベントには、中国科学院から院士が14名、南京大学や西安交通大学などの大学機関担当者が28名招かれて参加しており、そのほか、機関投資家及び医療機器、バイオ医薬品、次世代情報技術、ハイエンド製造といった当区重点産業分野から約一千人のイノベーション・起業家人材(チーム)が集まっています。

科学技術イノベーション週間は、人材・テクノロジー・産業三位一体のサプライチェーンの構築に向けて、当区が今年度初めて企画したイベントであり、区内大学や研究機関の研究成果を産業化するため、企業や起業家人材との連携を促すライフサイエンスネットワーク形成事業の一環として位置づけられます。

同日、太湖科学城フォーラム「新薬創出とライフヘルスケア分科会」が開催され、中国科学院院士、中国科学院上海医薬品研究所アカデミック

委員会委員・陳凱先、南京大学現代生物研究院院長・林安寧、東南大学生物科学医学工程学院院長・顧忠沢が講演を行い、当区政府側から陸振華、索文斌が出席し挨拶を行いました。

会では、陳凱先院士は「核心技术イノベーションとハイエンド産業発展」をテーマに、バイオ医薬分野における核心技术イノベーションやわが国のバイオ医薬関連ハイエンド産業発展の現状と見通しについて見解を述べました。

次いで、林安寧院長と顧忠沢院長はそれぞれ、「細胞シグナル伝達：基礎研究から新薬創出の挑戦」と「臓器チップ：体外診断用医薬品のスクリーニングモデルと疾患モデル構築のトレンド」と題した講演を行い、大きな歓声を受けました。



コストコ蘇州店本体工事完了年末グランドオープン予定

昨年4月に、蘇州高新区内の土地を1億4254万円で落札取得した米国の会員制量販大手コストコ・ホールセール傘下の独資中国国内企業(コストコ蘇州貿易有限公司)は、中国の上海1号店に続き蘇州高新区に3号店を、今年の年末にグランドオープンする予定を発表しました。

現地の情報によると、蘇州高新区城際路の西側で、現在建設中のデカトロン蘇州旗艦店(フラッグショップ)の南側に建設中のコストコ蘇州店はこのほど、本体工事が完了し、内部工事も最終段階に入ったという。9月には完工する見込みです。

コストコ蘇州店は建築面積が約52,000㎡で、1階の売り場面積が約16,000㎡で上海1号店とほぼ同じ規模です。2階、3階及び3階屋上は駐車スペースとなっています。

地下鉄3号線蘇州新区高鉄駅徒歩圏内であり、売場入口に直通する地下鉄6号線城際路駅も2024年6月に開業する予定です。

これまでに日本のイオンモール、スウェーデンのイケア、フランスのデカトロンと米国のコストコといった世界級の大手中売企業4社が次々と蘇州高新区に出店しており、大型商業集積地区を形成しつつあります。



8~9月の記事一覧

8月

- 8月4日 蘇州高新区、全住民参加のグリッド型PCR検査演習を実施
- 8月16日 蘇州高新区でコロナ対策のスマート化進む 消毒ロボット、QRコード付きドアプレートなど
- 8月20日 BlackShark科技プロジェクト調印式開催
- 8月25日 輸出型企業15社対象、政府・企業間交流会開催
- 8月28日 キンググリーン（萊克）新エネルギー部品プロジェクトキックオフ式開催

9月

- 9月1日 高新区楓橋街道×住友電工電子ワイヤー、オンライン会議実施 増産計画について討議
- 9月9日 中国トップ第三者医療検査機関、蘇州高新区にて長江デルタ本社設立
- 9月16日 2021年蘇州高新区日本企業中秋節懇親会開催
- 9月19日 蘇州高新区「夜映獅山」が盛大に開幕 8 特色ある夜市で消費促す
- 9月25~26日 蘇州博物館西館プレオープンデー開催 9月29日に正式開業



蘇州高新区 8~9月の記事

BlackShark科技プロジェクト 調印式開催

蘇州高新区において、ハイエンド製造と文化産業のイノベーション発展を積極的に推進し、先進技術とリソースを絶えずに導入するため、8月20日、蘇州高新区管理委員会は、BlackShark科技・南京賽富雨林持分投資管理センター・北京科復時代科学技術有限公司と戦略提携協定を締結し、共同で高新区にBlackShark科技プロジェクトの中国本部と上場主体を設立するを決めました。

契約式には、蘇州高新区党工委书记、虎丘区委員会書記・毛偉、区リーダーの虞美華、周曉春、BlackSharkの創始者・劉江峰、BlackSharkの董事長・呉世敏、BlackSharkのCEO・羅語周、賽富投資の創始者・閻煬、鈕爾利投資の創始者・林向紅、賽富雨林投資パートナー・趙延超、科復時代の創始者・李侃、信中利資本の高級パートナー・万曉陽が出席しました。

調印式は「オンライン+オフライン」という形で行われました。提携協定によると、BlackShark科技公司は高新区に全国本部及び上場主体を設立し、研究開発プラットフォームと運営プラット



フォームを設立し、積極的に知能製造産業チェーン・ゲーム文化産業チェーンを導入し、高新区のデジタル経済、スマートフォン分野における産業実力と影響力を積極的に向上させるという。また、高新区の知能ハードウェア及びIT関係の人材のレベルを向上させると期待されます。



輸出型企業15社対象、政府・企業間交流会開催

8月25日（水）、蘇州高新区にて「区内重点輸出型企業発展促進座談会」が行われました。座談会は、当区政府が各企業の経営状況を把握し、それぞれ抱えている課題について意見交換を行うことで、輸出型企業の持続可能な発展を図ることを目的として、区内重点輸出型企業15社の代表を含む30人以上が参加し、3時間30分程にわたり政府と参加企業が意見を交わしました。

政府側から高新区党工委书记、虎丘区委書記・毛偉が出席し、「起業者の楽園、イノベーターの天国」という街づくりの目標達成に向け、クライアント目線を意識した課題解決を行い、企業とともに経済成長を遂げていくという挨拶をしました。

統計によると、2021年上半期の区内総生産（GDP）は前年同期比15.7%増の779億元に達し、前年同期比15.7%増という増加率は市内1位を占めたとい

う。

一方で、輸出は好調を続けており、1月から7月までの貿易総額は前年同期比22.9%増の234.6億米ドルを上回り、区内経済を支える役割を果たしています。

座談会では、名碩電腦、佳世達電通（Qisda）、ロジテック（羅技科技）や国巨電子、キングクリーン（萊克電気）、パナソニック半導体、富士フィルムなど区内重点輸出型企業15社の代表が参加し、それぞれの上半期の経営状況を報告し、コロナ対策や雇用調整をめぐる課題について意見交換を行いました。



キングクリーン（萊克）新エネルギー部品プロジェクト キックオフ式開催



8月28日に、キングクリーン（萊克）新エネルギー部品プロジェクトは蘇州高新区総合保税区内で着工し、キックオフ式が開催されました。

今回のプロジェクトは、キングクリーン（萊克）電気が当面及び未来に向けた科学技術と市場発展の傾向に順応して推進した核心部品産業

群に関するものです。将来的のキングクリーン（萊克）電気の高品質の持続可能な発展のために、より広い発展空間と業務境界の確立に役立つと期待されています。また、高新区にとっても「双炭素」戦略の実行、グリーン低炭素産業の発展を加速する重要な措置になっています。

キックオフ式には、高新区政府から蘇州市政協主席・周偉強、蘇州高新区から党工委书记、虎丘区委書記・毛偉、高新区党工委书记、虎丘区区长・宋長宝、区人民代表大会常務委員会主任・戴軍、区政協主席・張国暢、区リーダーの張瑛、虞美華、周曉春、施国華、蘇州税関駐虎丘事務所主任・顧福根が参加し、キングクリーン（萊克）から倪祖根会長が出席しました。

蘇州高新区「夜映獅山」が盛大に開幕 8特色ある夜市で消費促す

9月19日の夜、蘇州高新区夜市イベントシリーズ「夜映獅山」は獅子山の麓に位置する蘇州獅山国際会議センターにて開幕しました。今回のイベントは、蘇州の次なるランドマークを目指す夜市を建設し、地域のナイトタイムエコノミー（夜間経済）の発展を促すことを目標に掲げました。

蘇州高新区党工委书记兼虎丘区委书记・毛偉が、イベントの開会に立ち会い、イベント会場である8つの夜市を視察しました。

今回、「夜映獅山」というブランドを打ち出した蘇州高新区の夜市は、管轄内のメイン商業地域を、それぞれAI夜市、淮海夜市、龍湖夜市、緑宝夜市、泉屋夜市、横塘美食家夜市、金鷹夜市、月泊湾夜市といった8つの特色ある夜市にリブランディングしたものです。「夜映獅山」のブランド化、バスツアーの開設、コンテスト形式による体験活動、週末ショーの開催による消費拡大、ショッピングプラットフォームの人気ランキング



づくり、5つのシリーズイベントを通し、ショッピング、飲食、エンターテインメント、ナイトツアー、特別公演などの方面から夜間消費を促し、地域の特色に国際的なセンスを加え、蘇州版の「安義夜市（上海）」及びナイトエコノミーの重要な一環を構成することを目指します。イベントの開催期間は、9月19日（日）～年末（未定）です。



高新区楓橋街道×住友電工電子ワイヤー、オンライン会議実施 増産計画について討議



9月1日（水）、蘇州高新区管轄の楓橋街道は、蘇州高新区日本事務所と連携し、同区に製造会社をもつ住友電工電子ワイヤー株式会社（本社：栃木県鹿沼市）とオンラインにて交流会を実施しました。

会議には、日本側から住友電工執行役員・電子ワイヤー事業部長・横井清則、住友電工（蘇州）電子線製品有限公司総経理・神林将、

中国側から蘇州高新区日本事務所代表・丁勇軍、楓橋街道党工委书记・張雁ほか、中日関係者のべ11名が参加し、増産投資など同社の蘇州支社における今後の事業計画について議論を行いました。

楓橋街道の張委員は、「楓橋街道には自動車部品産業が集中しており、新エネルギー自動車の分野は、同エリアの多くの企業にとって新たな業績の支えとなっています。（住友電工）本社が蘇州支社をもっと支援し、先進技術や高付加価値製品、特に新エネルギー自動車部品に関連する事業を蘇州支社に投入することにより同社におけるアップグレードと革新を加速

させることを期待しています」と述べました。

住友電工の横井部長は、蘇州高新区のビジネス環境を高く評価し、同区政府による支援や理解に感謝の意を表し、これからも蘇州支社がより良い発展を遂げることで政府に恩返ししていくことを語りました。

会議の最後に、蘇州高新区日本事務所の丁所長は、今回のオンライン会議を機に、住友電工電子ワイヤー本社とのつながりをさらに深め、本社とともに住友電工蘇州支社の将来の発展に貢献して行きたいと話しました。

2021年蘇州高新区日本企業中秋節懇親会が開催



9月16日、蘇州高新区で日本企業中秋節懇親会が開催され、日本企業の企業家と一緒に中秋節を迎え、高新区の明るい未来を展望しました。

イベントには、蘇州高新区党工委书记、虎丘区委书记・毛偉、日本駐上海総領事館副総領事・福田高幹、日本駐上海総領事館副領事・坊城慈良、大阪府上海事務所長・南浦秀史、熊本市上海事務所長・中村正昭、蘇州市人民

政府外事弁公室党組書記、副主任・魏書傑、区リーダーの陸振華、虞美華、周曉春が出席しました。

他に、日本科学技術振興機構北京事務所所長・茶山秀一、蘇州日商俱樂部会長・藤田浩史、蘇州日本人学校校長・虻川康士、また、三井住友銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行などの金融機関、デロイト・マイツをはじめとするコンサルティング機構、首正徳勝、日本BOG、長江デルタ地域及び高新区に進出している日本企業及び高新区の関連部署、ブロックの責任者が出席しました。

イベント開始前、当日の午後、福田高幹氏一行は蘇州高新区中日友好クリニックを参観し、中日友好クリニックの日本式なサービスと雰囲気称賛しました。また、今後はより多くの協力パターンを模索し、交流を強化し、蘇州高新区中日友好クリニックのブランド影響力を拡大していくと述べました。

蘇州高新区 10~11月の記事

10~11月の記事一覧

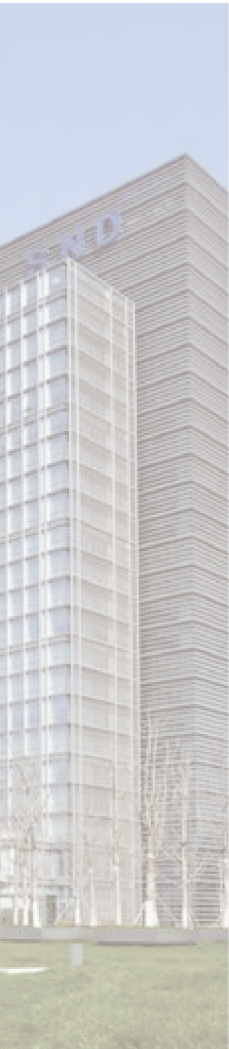


10月

- 10月5日 蘇州高新区、企業進出支援の更なる高度化と専門性を高める会議を実施
- 10月11日 2021年度江蘇省エンジニアリング技術研究機関が発表 科学技術イノベーションの更なる飛躍を
- 10月12日 蘇州クレストック、高新区新工場着工
- 10月18日 高新区・大湾区連携協力促進大会開催 ハイテク産業発展に注力
- 10月21日 パナソニックAS蘇州有限公司、創業20周年記念式典開催
- 10月25日 イタリア・GVS蘇州支社、高新区新工場着工
- 10月27日 高新区×台湾、2021年海峡两岸（蘇州）青年文化マンス開幕

11月

- 11月5日 積水化学蘇州子会社製品、第4回中国国際輸入博覧会に出展
- 11月9日 ユーロ元決済、蘇州初の国内外為替一元化取引実施
- 11月10日 高新区総合保税区、2021年江蘇省越境EC産業園区と認定
- 11月12日 コストコ蘇州店、12月8日に開業決定!
- 11月18日 蘇州高新区×万都MHE韓国本社、オンライン会議実施 新工場建設計画表明



高新区・大湾区連携協力促進大会開催 ハイテク産業発展に注力



2021年度「蘇州高新区・大湾区※イノベーション発展推進大会（2021蘇州高新区对接大湾区創新發展推介会）」が10月18日、深圳にて開催されました。今回の大会では、蘇州高新区は新たに68件のプロジェクトを立ち上げ、対企業投資契約金額が合計522億人民元となったことを発表しました。

粵港澳大湾区とは、香港（港）・マカオ（澳）・広東省（粵）珠江デルタの九つ都市（広州、深圳、東莞、惠州、仏山、江門、中山、珠海、肇慶を含む）を統合したグレーターベイエリアを目指す発展計画地域です。

大会にはアメリカ医学生物工学工程院院士、ウクライナ国家工程院外国籍院士、中国科学院深理工計算機科学及び控制工程院学長、深圳工業大学学長・潘奕、万科グループ、Deep Dive（深潜スポーツ）の創設者・王石をはじめとする産官学各界が参集しました。

蘇州高新区から高新区党工委书记、虎丘区委書記・毛偉が大会に出席し、挨拶を行いました。

今回締結したプロジェクトは、技術の含有量が高い、イノベーション能力が強い、投資規模が大きい、市場将来性があるなどの特徴があり、高新区のイノベーション能力を高め、地域発展の原動力となる重要な一環となります。蘇州高新区は、企業の進出がスムーズになれるように、相応なサービスを積極的に提供しています。

大会では、江蘇・蘇州医療機器イノベーションセンター、テンセント（蘇州）デジタル産業センター、中国Deep Dive（深潜）ウォータースポーツ健康技術研究所、5つのイノベーションプラットフォーム、中国呼吸健康智能科創センターの設立も発表されました。



パナソニックAS蘇州有限公司、創業20周年記念式典開催



10月21日、パナソニックAS蘇州有限公司の創立20周年記念式典及びソナー技術を応用した新製品の量産開始を発表すると共に、インテリジェント・ロジスティクス（智能物流）センターの起工式典が行われました。

記念式典には、パナソニックAS中国社総経理・多那瀬寛、パナソニックAS蘇州有限公司社総経理・志賀康紀がイベントに参列しました。政府側は、蘇州高新区党工委书记、虎丘区委書記・毛偉、蘇州高新区党工委委員、管理委員会副主任張瑛が出席し、政府各部門の責任者も出席しました。

パナソニックAS中国社の多那瀬寛総経理とパナソニックAS蘇州有限公司の志賀康紀総経理は「パナソニックを支援して頂いた蘇州高新区に感謝の意を表します。この20年間、拠点位置の選定、生産開始、車載システム事業の立ち上げ、「松下汽車電子系統（蘇州）有限公司」への社名変更など発展の様子は目を見張るものがあります。今後も、新製品を開発し、新しい分野を切り開き、次なる発展のステージへ向かっています」とそれぞれ挨拶を行いました。

ソナー技術を応用した新製品：車載ソナーセンサー

量産されるソナー技術を応用した新製品・車載ソナーセンサーは一定範囲内の障害物を検出することで、各システムをコントロールすることが可能です。運転手に警報したり、アクセルやブレーキを自動的に操作したり、運転の安全性を高めることが可能となりました。その他、車載ソナーセンサーは自動停車システムにも応用されています。

インテリジェント・ロジスティクス・センター（智能物流センター）

パナソニックは製造業の企業として、生産の効率とかかわる物流を大切にしています。この度、インテリジェント倉庫センターを設立することで、パナソニックグループの強みであるIT技術を活用し、物流を速めることで、全体の生産効率を向上させる他、インテリジェント工場の建設の先駆けともなっています。

蘇州クレステック、 高新区新工場着工



10月12日に、蘇州クレステック印務有限公司・高新区新工場の着工式が行われました。蘇州クレステック印務有限公司の塚本幹浩総経理、蘇州高新区政府の陸振華、張瑛が式に出席しました。

新工場は、「新エネルギー」、「新技術」、「インテリジェンス」をコアコンセプトに、医療用印刷製品を中心に展開する予定である。環境にやさしく、自動化された高精度の設備を備え、次世代の業界トップの工場となることの実現を目指しています。新プロジェクトの面積は24畝（約2380.17平方メートル）、総投資額は2億元、稼働後の年間生産額は3億元を超える予想され、バイオ医薬品産業に新たな活力を与えることが期待されています。



積水化学蘇州子会社製品、第4回中国国際輸入博覧会に出展



11月5日～10日にかけて、第四回中国国際輸入博覧会（CIIE）は上海の国家会展中心において開催されました。

展示会には、高新区にある積水中間膜（蘇州）有限公司によって開発された高耐UVA遮熱中間膜（高抗UVA防汚中間膜）が出展し、注目度の高い新製品としてCCTV 2で報道されました。

積水中間膜（蘇州）有限公司の張俊総経理の説明によると、中間膜とは、車の2枚のフロントガラスの間に挟み込まれる1mm未満の薄い膜で、この中間膜のおかげで、車が衝撃を受けてもガラスが破片になって飛び散らないようになることで、車の安全性を高め、運転手の命を守る大切なものであるという。

この高耐UVA遮熱中間膜は一般の中間膜とは違い、大きな機能として、車のフロントガラスを通す紫外線の量を大幅に抑えられる優れた遮熱機能が特徴です。

張俊総経理はまた「高耐UVA遮熱中間膜は積水化学独自のナノテクノロジーを使い、微粒子を均一に中間膜に入れ、肌を老化させる紫外線（UVA）と皮膚に灼熱感をもたらす赤外線をカットすることで、皆様の健康を守ることができます」と説明をしました。

データによると、一般の中間膜を通過する

紫外線の量は $150 \mu\text{m}/\text{cm}^2$ である一方、高耐UVA遮熱中間膜を通過するのは約 $0.5 \mu\text{m}/\text{cm}^2$ のみになり、何百倍も紫外線量を減少させることで、人の健康を守る効果が大幅に向上したという。

中国自動車市場の発展に伴い、積水化学が開発した遮音中間膜、ヘッドアップディスプレイ中間膜など高性能な製品は、蘇州現地での生産が既に可能となっています。蘇州高新区は、積水化学の生産拠点だけでなく、重要な研究開発拠点ともなっています。

新製品の発表及び博覧会への登場を成功させる為、中間膜開発の専門家である、同社の松本学副総経理も高新区現場の開発チームに入り、中間膜の遮熱機能が国家質量監督検閲センターからデータの認証が取れるように力を入れました。このデータによる認証は、高耐UVA遮熱中間膜の優れた遮熱機能の証明となります。

高耐UVA遮熱中間膜の蘇州生産については、張俊総経理は「蘇州社では、中間膜を生産するサプライチェーンも、技術も、世界トップです。近い将来には、この高耐UVA遮熱中間膜が中国の一般消費者向けになり、高新区での現地生産も可能になることを期待しています」と述べました。

ユーロ元決済、蘇州初の国内外為替一元化取引実施

先日、蘇州高新区の企業が発注した、総額40,000ユーロの医療設備は、中国と欧州を結ぶ国際貨物列車の中欧班列で、ドイツを出て蘇州高新区に向かって出発しました。これは、蘇州市初の国内外為替が一元化された国際取引です。

今回の取引は、蘇州高新グループ傘下の鍾山蘇新会社が主導して行われました。韋氏（蘇州）医療科技有限公司が購入した医療設備は、近日中に蘇州高新区に到着する予定です。

韋氏（蘇州）医療科技有限公司は、2018年1月に設立されてから、国外の設備を購入するのは非常に難しいという状況が続いてきました。同社だけではなく、同じような問題を抱える会社は少なくない。会社が直接購入するか、代行会社に委託するか、どんな方法で海外の設備を購入しても、かなりの間接的な費用が発生します。



そのため、蘇州高新グループ傘下の鍾山蘇新会社が区内の銀行と連携し、ユーロNRA口座の開設、輸入ユーザンス信用状の取得を実現し、また、通関申告や物流などの関連サービスを通し、区内企業の海外購入時の問題を解決しました。

NRA (Non-Resident Account) 口座とは、中国国外の機関が法に照らしてクロスボーダー人民元業務を取り扱い、人民元資金の決済上の必要から、中国国内の中国資本および外資銀行に開設を申請するクロスボーダー銀行口座をいいます。

今回の国内外為替一元化取引事業の実施は、人民元の双方向キャピタルプールの再開と国内外の資金のさらなる円滑な流れをもたらすだけでなく、今後もこのような海外顧客の国際ビジネスへの対応を拡大していくことによって、この地域の中小医療機器企業に大きな発展を寄与することが期待されています。

蘇州高新区×万都MHE韓国本社、オンライン会議実施 新工場建設計画表明



11月18日、蘇州高新区と万都海拉電子（蘇州）有限公司（Mando-Hella Electronics）の本社とのオンライン会議が実施されました。蘇州高新区党工委副書記、虎丘区代理区長・宋長宝、万都海拉電子（蘇州）有限公司本社長・尹八柱がオンライン会議に参加し、産業構造の転換や両地域の連携などのトピックスについて意見交換を行いました。その他、万都海拉電子（蘇州）有限公司総経理・権五振、高新区招商局、招商センター、科学城の責任者も会議に参加しました。

尹八柱社長は蘇州高新区の支援に対して、感謝の意を表し、第三期工場の建設企画及び近況を説明しました。

万都海拉電子（蘇州）有限公司は2011年に蘇州高新区に進出してから、自動車シャーシの電子機器とセンサー技術製品の開発・生産に注力し、著しい発展を遂げ、2020年の売上高は9.8億元に達し、2021年は12億元の売上高の見込みです。同社は2万平米の建築面積があり、第三期工場の建築を前向きに検討しています。

2021年3月から、韓国万都海拉電子株式会社は株主の変更により、韓国万都グループが100%の株を保有することになりました。9月、万都グループは先進運転支援システム（ADAS）事業を単独で取り出し、Mando Mobility Solutions(MMS)一新会社を設立しました。両社の強みを発揮することで、自動運転事業を推進する為、万都海拉電子株式会社とMMS会社を2021年12月に合併し、新会社HL Klemoveに社名を変更する予定です。





強 · 富 · 美 · 高